

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		公共交通運行事業		担当課	都市計画課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間	平成13年度～
	施策	道路網・公共交通体系の整備		種別	任意の事務
	基本事業	公共交通網の充実		市民協働	企画立案への参画
予算科目コード		01-080401-09 単独	根拠法令・条例等	守谷市地域公共交通活性化協議会設置要綱，守谷市ノンステップバス導入事業費補助金交付要綱	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成8年9月に運行開始した福祉循環バスを，平成13年10月からコミュニティバスに形態変更して運行を継続していたが，様々な課題が見受けられるようになってきたため，平成20年6月に，守谷市循環バスのあり方等研究会を設置し，今後のバスのあり方等について検討を行った。その結果，路線バスとコミュニティバスの補完関係を明確にし，連携の強化を目的として，平成20年度に守谷市地域公共交通活性化協議会を設置し，協議会を主体に公共交通の見直しに取り組んでいる。	1 守谷市地域公共交通活性化協議会（事務局：市企画課）が，もりやコミュニティバス「モコバス」を運営する（運行は関東鉄道（株）に委託。運行経費から運賃収入を差し引いた額を負担する）。 [運行路線数及び便数] ・いこいの郷・板戸井ルート<A・左回り> 14 便/日 ・いこいの郷・板戸井ルート<A・右回り> 14 便/日 ・南守谷ルート<B・左回り> 16 便/日 ・南守谷ルート<B・右回り> 16 便/日 ・買い物・病院ルート<C・左回り> 4 便/日 ・買い物・病院ルート<C・右回り> 4 便/日 2 市内公共交通の活性化を促進するための検証・検討を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
1 公共交通空白地帯の解消し，市内バス交通の充実と利便性を向上を図る。 2 自動車運転が困難な高齢者・交通弱者のための交通手段を確保する。 3 自家用車から公共交通利用への転換促進による低炭素のまちづくりを行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
バス，鉄道等の公共交通による快適な移動を確保する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
・モコバス・路線バスに導入されているバスロケーションシステム運営・継続判断 ・市内公共交通再編の検討（バスルート，デマンドタクシー等） ・モコバス・路線バス運行に関する対応（時刻表改正やバス停位置，苦情等） ・バスブックの改定の検討 ・ナビタイムの導入による利便性の向上 ・ノンステップバスに対する補助金の交付	・平成28年度の公共交通基礎調査業務を踏まえ，平成30年度以降の公共交通網再編も見据えて策定する地域公共交通網形成計画策定のための公共交通活性化協議会の実施。 協議会：6月27日第1回，11月2日第2回，翌2～3月第3回予定 分科会：9月28日第1回，翌1～2月第2回実施予定 ・高齢者の運転免許証自主返納事業の実施（10月末：57名） ・ノンステップバス補助事業 12月補正，要綱一部改正中 ・モコバス・路線バス運行に関する対応 ・平成29年2月から導入されているバスロケーションシステム運営等 ・平成30年度以降は，地域公共交通網形成計画に基づき，新たな公共交通手段の導入や既存の公共交通の検討を行う。
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
・守谷市地域公共交通活性化協議会（事務局：都市計画課）で意見の集約をし，運営主体である関東鉄道㈱と協議しながら市民の利便性向上を図っていく。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	バスルート再編，新たな公共交通手段の早期導入

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の取組（評価、課題への対応）
公共交通の利便性向上策をより周知し、さらに公共交通基礎調査の報告書をもとに公共交通の再編に取り組むことで利用者の増加を図る。	守谷市公共交通基礎調査の報告書を基に、公共交通再編に取り組むための「守谷市公共交通網形成計画」について検討を行った。また、モコバス利用者数は横ばいである中、地方創生活活性化交付事業を活用した公共交通の利便性向上策としてパスロケーションシステム「見えバス」を平成29年2月に導入したが、評価検証の結果、平成30年3月をもって実証実験終了とした。新たに時刻表検索・乗換案内検索等ができるナビゲーションシステム「NAVITIME」および「ジョルダン」の利用対象路線となった。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
モコバスの年間利用者数（人）	138, 243. 00	137, 395. 00	140, 400. 00	140, 400. 00	0. 00
	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	守谷市は道路網が整備され交通渋滞も少ないこと、守谷駅周辺の駐車場が多いことなどが、モコバスの利用者数が増加しない原因のひとつと考えられる。また利用促進を図っているが、市民のニーズに合った路線でない可能性がある。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	「守谷市公共交通網形成計画」に沿った施策を行い、デマンドタクシーの導入など地域の意見を取り込み公共交通網の充実を図る。 ※平成31年度からモコバスの運行について事業の実施を見直すため、現時点での平成33年度目標値はない。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	91,334	91,876	94,536	92,953	92,953
	国・県支出金	0	0	620	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	93,916	0	0
	一般財源	91,334	91,876	0	92,953	92,953
正職員人工数（時間数）		0.00	209.00	1,498.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	857	6,142	0	0
トータルコスト		91,334	92,733	100,678	92,953	92,953